

秋田県立花輪高等学校中期ビジョン（5か年計画）

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

【1】学校の現状

（1）教育課程と進路指導体制

本校は現在1学年4学級(定員 140名)。1年次では、特進クラスを設けて進学に対する意識付けを強化し、2年次に向けてのコース選択につなげている。

コース選択は1学年4学級を生かし、次のような4コースを設定し、生徒の希望する進路に対応できるようにしている。

コース名	概 要
文Ⅰコース	就職希望者・文系専門学校への進学希望者のコース
文理Ⅰコース	短期大学・医療系専門学校への進学希望者のコース
文Ⅱコース	文系大学への進学希望者のコース
理Ⅱコース	理系大学への進学希望者のコース

過去3年間の 主な進学先	北海道教育大、帯広畜産大、弘前大、青森公立大、岩手大、秋田大、国際教養大、秋田県立大、山形大、高崎経済大、新潟大、秋田看護福祉大、東北福祉大、早稲田大、東洋大、日本大、他
過去3年間の 主な就職先	公務員：鹿角市役所、秋田県職員、秋田県警、法務局、 鹿角広域行政組合本部（消防）、他 民間：秋田銀行、小坂製錬、ニプロ大館工場、八幡平地熱、 鹿角パークホテル、郵便事業東北支社、虎屋、赤羽歯科、 清川病院、明徳会総合新川橋病院、他

（2）部活動の活躍

本校では陸上競技部、スキー部が全国レベルの成績を上げている。

- ① 陸上競技部、全県総体総合優勝(男子・女子)、全国駅伝競走大会 12位(県で女子過去最高)
- ② スキー部、全国高校総体総合優勝(男子・女子)
- ③ 実業部、全国大会出場
- ④ 吹奏楽部、過年度東北大会に出場

（3）地域と連携した取組

地域を活性化する文化活動やボランティア活動に全校で意欲的に取り組んでいる。

- ① 鹿角市主催のボランティア等への参加による地域貢献
- ② 本校吹奏楽部による比内支援学校かつの校や地域イベントでの演奏会の実施
- ③ 花輪商店街との協力による「花高祭仮装カーニバル」の実施
- ④ 高齢者宅の除雪ボランティアの実施

【2】学校を取り巻く将来の状況の予測

(1) 鹿角小坂地区の中学校卒業生数及び地区内の高校への入学者数の見通し

卒業年月	平成27年3月	平成37年3月
中学校卒業生数	343人	258人(予測)
地区内の高校への入学者数	299人	224人(予測)

(第七次秋田県高等学校総合整備計画より)

(2) 第七次秋田県高等学校総合整備計画による鹿角小坂地区の統合等再編整備構想

この第七次の計画期間は平成28年度から平成37年度の10年間としている。この計画では、鹿角小坂地区に地域に根ざした特色のある教育活動を展開するとともに、多様なコースを設定して生徒の進路実現を図り、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成する学校を設置するとあり、統合対象は、花輪高校、十和田高校、小坂高校とすると明記された。これを受けて、地域や関係機関、三校の同窓会などと調整しながら、統合に向けた環境整備を進めていくとともに、花輪高校として地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進していく必要がある。

【3】目指す方向性や学校像

- (1) 生徒一人一人の進路実現と社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実
- (2) 地域に根ざした特色ある教育活動の展開と社会に貢献する人材の育成
- (3) グローバル化に対応し国際社会で活躍できる人材の育成
- (4) 全国レベルで活躍できる部活動の振興

【4】5年間で達成を目指す具体的目標

(1) 生徒一人一人の進路実現と社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実

- ① 就職決定率：100%
- ② 1年以内の早期離職率：0%
- ③ 国公立大学合格者数：30名
- ④ 難関大学合格者数：複数
- ⑤ 上級学校進学者の地元就職の状況把握と促進

(2) 地域に根ざした特色ある教育活動の展開と社会に貢献する人材の育成

- ① 鹿角市、小坂町と連携した地域興しへの貢献
- ② 地域ボランティアなどの推進
- ③ 地域の一員としての意識やふるさとを愛する教育の推進

(3) グローバル化に対応し国際社会で活躍できる人材の育成

- ① 高3生徒の実用英語技能検定準2級以上取得率：25%
- ② 外国語指導助手などを活用した英語コミュニケーション能力の向上
- ③ 海外の高校との交流活動や海外からの留学生の受入についての検討・促進

(4) 全国レベルで活躍できる部活動の振興

- ① スキー部の全国大会優勝
- ② 陸上競技部の全国大会入賞、駅伝チームの全国大会出場・入賞
- ③ 吹奏楽部や実業部などの文化部の全国大会出場

具体的な取組等

「5年間で達成を目指す具体的目標」を実現するため次のことに取り組む

(1) 生徒一人一人の進路実現と社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実

- ① 進路希望達成のために必要な確かな学力を身に付けさせるために毎日の授業を大切にし、授業研修に積極的に取り組むとともに、アクティブ・ラーニングの視点で授業改善に努める。
- ② 年数回「針路の日（進路学習の日）」を設定し、外部講師を招いての社会人講話、進路講演会、進路別ガイダンス、大学模擬講義を計画的に実施することで、進路意識・学習意欲を高めるとともに、進路目標達成に必要な知識、態度を身に付けさせる。
- ③ インターンシップ、ふれあい看護体験等の就業体験を通し、働くことの意義や職業適性等についての理解を深めさせ、自ら職業選択できる能力を育成する。
- ④ 土曜補習、長期休業中の課外授業、小論文講習会等の他、希望者に対しWEB形式の受験対策講座を実施し、進路希望実現に必要な学力の育成を目指す。
- ⑤ 担任、学年部は個人面談、保護者面談を複数回実施し、情報を共有しながら、生徒本人の進路志望を尊重し、その実現に努めるとともに、志望校検討会、模試分析会等を通し、進路指導力の向上に努める。
- ⑥ 高校入試等の分析を通して、中学校段階での学習状況を的確に把握し、学び直しの時間（AL時間）を効果的に実施し、学力向上につなげる。

(2) 地域に根ざした特色ある教育活動の展開と社会に貢献する人材の育成

- ① 「いつでもどうぞ」期間を活用し、相互授業参観など日常的な授業研究の充実に努めるとともに、地元中学校教員、保護者、学校関係者評価委員など外部の方々からの授業参観の機会を設け、開かれた学校づくりに努める。
- ② 花輪商店街の協力による「花高祭仮装カーニバル」など、地域を活性化する文化活動に意欲的に取り組む。また、地域の伝統行事「花輪ばやし」の保存と継承に向けた協力の在り方を検討する。
- ③ 地域ボランティア活動、老人介護施設での交流会などを通じて、積極的に地域へ貢献する活動を展開し、地域社会に主体的に参画する態度を育む。
- ④ ふるさと企業紹介や地元企業との情報交換会などを通じて、就職希望者だけでなく進学希望者に対しても将来リーダーとして地域を積極的に支えようとする人材を育成する。
- ⑤ 関係機関や外部講師を活用して、地域の抱える課題の把握に努め、課題解決に向けた探究活動を通して、地域を担う意識を高める。

(3) グローバル化に対応し国際社会で活躍できる人材の育成

- ① 英検を1・2年生が全員受験し、資格取得への意欲を高め、英語力の向上を図る。
- ② 外国語指導助手と生徒個人が会話をする機会を設定し、積極的に英語を使おうとする意識を涵養する。また、国際教養大学との連携も図り英語コミュニケーション能力の向上を目指す。
- ③ 海外の高校と姉妹校を提携し、短期ホームステイの受入を行う体制づくりに努める。
- ④ 小坂町国際交流協会や鹿角国際交流協会と連携し、JICA研修員等と交流する機会を設ける。

(4) 全国レベルで活躍できる部活動の振興

- ① 地域の中学校との合同練習会や合同強化合宿を実施し、技術交流を図る。
- ② 陸上競技部、スキー部を強化部に指定し、県外遠征等を実施し強化を図る。
- ③ 全国大会を目指す部活動への支援を強化する。